一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

ニューズ・レター No.193

JSiSE

発行日 2014年11月30日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 前迫 孝憲

〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101
TEL&FAX 06-6324-7767
URL http://www.jsise.org
E-MAIL secretariat@jsise.org

2015年度JSiSE全国大会(第40回)のご案内

2015年度全国大会の開催日と開催場所が決定しました。

開催日 ：2015年9月1日(火)～3日(木)

開催場所：徳島大学 常三島キャンパス

http://www.tokushima-u.ac.jp/access/

是非ご参加ください。大会の詳細は、随時Webサイト等でご案内いたします。

●○●○●○●○●○≪ も く じ ≫●○●○●○●○●○●

次年度 第40回全国大会のご案内・・・・・・・1
2014 年度第 5 回研究会 プログラム・・・2-4
2014 年度第 6 回研究会 発表募集・・・・5-6
2014 年度特集論文研究会 発表募集・・・7-8
2014 年度 JSiSE 学生研究発表会・・・9-10
2014 年度第 4 回研究会 開催報告・・・・・11
2014 年度研究会年間開催予定・・・・・・・11
「第9回医療系eラーニング全国交流会」のご案内・・・11
学会誌特集号論文募集・・・・・・・・・12-13
国際会議のご案内・・・・・・・・・・・・・14
支部より報告・・・・・・・・・・・・・・・15
事務局より・・・・・・・・・・・・・・・・16
新入会員のご紹介・・・・・・・・・・・・・17

●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●

教育システム情報学会（JSiSE）
2014 年度 第５研究会　プログラム

担　　当：佐々木整，三石　大，光原弘幸（研究会委員会）
会場担当：大野麻子（大阪産業大学）

【テーマ】新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン/一般
【開催日】2015 年 1 月 10 日(土)
【会　場】大阪産業大学（16 号館 16507 号室・16508 号室）
http://www.osaka-sandai.ac.jp/static/html/access/
http://www.osaka-sandai.ac.jp/cgi-bin/cms/campuslife.cgi?campus_cd=dahGfnCaCR
(シャトルバス時刻表)
http://www.osaka-sandai.ac.jp/cgi-bin/cms/campus_life.cgi?studentlife_cd=5JzeUsFN0i
(近鉄バス時刻表)
http://www.minami-osaka.jp/?KintetsuBus%2FSuminodouEkimae%2FHyoutanyamaEkimae

【連絡先】第 5 回研究会担当委員(代表: 拓殖大学　佐々木 整)
E-mail: jsise-5th-submit_at_eitl.cs.takushoku-u.ac.jp(_at_ を@に変えてください)

【プログラム】1 件 25 分(発表 17 分，質疑応答 7 分，交代 1 分)、登壇者に○
※現在、開場時間等に関して会場校と確認を取っている段階で、以下のプログラムが最終決定ではなく、今後、調整を行う可能性があります。

□ 開　　場 8:50
□ 開会挨拶 9:15-9:20（第 1 会場）

＜第 1 会場＞
□ セッション 1-1 9:20-11:00
1. 時系列表示を中心とした、タブレット利用を前提とする LMS の開発
○原田 章，荒井崇史，岩渕亜希子，杤尾真一，長尾俊明(追手門学院大学)，
平 治彦(日本データパシフィック株式会社)

2. スマートデバイスを活用した自主学習システム(神女 LMS)の構築
○竹田和恵(神戸女子大学)，小松俊朗(神戸女子大学)

3. 資格試験対策におけるスマートデバイスの教育活用の検討
○大塚健太郎(早稲田大学)

4. タブレット端末を用いたピアレビュー学習支援システムによる美術教育の実践
○生田目美紀(筑波技術大学)，松田 昇(カーネギーメロン大学)

□ セッション 1-2 11:10-12:50
5. 小学校安全マップ活動支援アプリケーションについての検討
○虻川みのり，Tnew Chen Zhun，吉本定伸(東京高等専門学校)，福本 徹(国立教育政策研究所)

6. 個別学習におけるタブレット端末の動画と一斉学習における動画の解説による比較分析
○宇宿公紀(東京都立八潮高等学校/教育テスト研究センター)

7. グループ学習と全体発表を支援するシームレスな学習環境の開発
○野口孝文(釧路高等専門学校)

8. コラボレーションツールを用いた高等学校におけるアクティブラーニングの実践
○佐々木正徳，飯沼瑞穂(東京工科大学)

□ セッション 1-3 13:50-15:30

9. 人型ロボットとのコミュニケーションを用いた新たな ICT 活用教育手法に関する検討
○坂田信裕(獨協医科大学)

10. テキストコミュニケーションツール“iConversation”に記録された受講生の授業に対する印象とメッセージの分析
○斐品正照(東京国際大学/東北大学大学院)，浅羽修丈(北九州市立大学)，
三池克明(佐久大学信州短期大学部)，大河雄一(東北大学大学院)，三石 大(東北大学)

11. 肢体不自由者のためのタブレット操作トレーニングアプリケーションの改良
○難波勇希，吉本定伸(東京高等専門学校)，谷本式慶(東京都八王子東特別支援学校)，
野口健太郎(国立高等専門学校機構)，佐野将大(香川県立高松養護学校)

12. Kinect センサを用いた肢体不自由者向け腕トレーニングシステムの改良
○野島幸大、吉本定伸(東京高等専門学校)，谷本式慶(東京都立八王子東特別支援学校)，
野口健太郎(国立高等専門学校機構)

□ セッション 1-4 15:40-17:20

13. 自閉症児童のための AR 技術を用いた視覚的指示を取り入れたソフトウェアの開発
○舩木英岳，山本 創，古林達哉(舞鶴高等専門学校)，
木下博美(京都府立舞鶴支援学校)，丹下 裕(舞鶴高等専門学校)

14. 没入型 HMD と AR を組み合わせたインタラクティブな避難訓練システム
○川井淳矢(徳島大学)，岩間智視(徳島大学)，光原弘幸(徳島大学)，
田中 基(近畿大学)，井若和久(徳島大学)，上月康則(徳島大学)，獅々堀正幹(徳島大学)

15. キットビルド概念マップを用いた具象化活動による知識精徹化の試み
○森 智彦，山中 彰，前田啓輔，吉田 完(広島大学大学院)，
志田正訓(広島大学付属小学校)，林 雄介，平嶋 宗(広島大学大学院)

16. キットビルド概念マップの授業内分析・活用のための教師用リアルタイムアナライザの設計・開発
○山中 彰，森 智彦，前田啓輔，吉田 完，志田正訓，林 雄介，平嶋 宗(広島大学大学院)

＜第 2 会場＞

□ セッション 2-1 9:20-11:00

17. 問題解決能力向上を補助するクラウドストレージ活用の提案
○松本 哲

18. プログラミング言語を用いた TVML のインタラクティビティに関する検討
○柏木治美，康 敏，大月一弘(神戸大学)

19. キャラクタの性質によるプログラミング教育効果の差異の検証
○音森一輝(早稲田大学)，坂本一憲(国立情報学研究所)，鷲崎弘宣，深澤良彰(早稲田大学)

20. プログラミング教育：ロボットの導入による効果についての比較研究
○山崎頌平(早稲田大学)，坂本一憲(国立情報学研究所)，本田澄，鷲崎弘宜，深澤良彰(早稲田大学)

□ セッション 2-2 11:10-12:50

21. 日本人英語のための音声合成技術を用いた英語学習支援の検討
〇高道慎之介，大島悠司，戸田智基，Graham Neubig，Sakriani Sakti，
中村 哲(奈良先端科学技術大学院大学)

22. e-Learning を用いた英語発音改善のための教育システムの開発
〇平塚紘一郎，野本尚美(仁愛女子短期大学)

23. 学生を対象とした英語プレゼンテーション学習支援ソフトウェアの開発
〇齋藤 光，橋積裕紀，吉本定伸，堀 智子(東京高専)，
野口 ジュディー・津多江(武庫川女子大学)，小嶋徹也(東京高専)

24. 全学共通情報リテラシー教育の課題と改善
〇阿部一晴，酒井浩二(京都光華女子大学)

□ セッション 2-3 13:50-15:30

25. 自己調整学習を促進するための授業設計に関する予備検討
〇仲林 清(千葉工業大学)

26. 小テストにおける理解度不足の要因分析機能の提案
〇加藤利康(日本工業大学)

27. 協調的作問機能システムを利用した知識の活用効果
〇辻 慶子(産業医科大学)，三浦鉱輝，高野泰臣(千歳科学技術大学大学院)，
金子大輔(北星学園大学)，山川広人(千歳科学技術大学)，小松川浩(千歳科学技術大学大学院)

28. 乗除算文章題の構造的理解を指向した作問学習支援システムの設計・開発と実践運用
〇山元 翔，赤尾優希，室津光貴(広島大学大学院)，
前田一誠(広島大学附属小学校)，林 雄介，平嶋 宗(広島大学大学院)

□ セッション 2-4 15:40-17:20

29. 自由記述されたテキストを採点する SCORM 準拠の e-Learning コンテンツの開発
〇近藤隆司(大分大学)，後藤善友(別府大学)，島田公一(大分大学)

30. 学習活動をダイナミックに制御できる LMS の提案
〇喜久川功，有富智世(常葉大学)，宮寺庸造(東京学芸大学)

31. テキストマイニングを用いた文章技術に関する書籍の調査
〇山本 樹(尚美学園大学)

32. 社会人オンライン大学院修了生のアンケート分析：
“修了で身につくコンピテンシー”の充足度の変化を中心に
〇高橋暁子(熊本大学大学院教授システム学専攻同窓会/徳島大学)，
竹岡篤永(熊本大学大学院教授システム学専攻同窓会/高知大学)，
石田百合子，鈴木伸子(熊本大学大学院教授システム学専攻同窓会)，
鈴木克明(熊本大学大学院)

□ 閉会挨拶 17:20-17:25（第 1 会場）

教育システム情報学会（JSiSE）
2014 年度 第６回研究会　講演募集

[研究会Web] http://www.jsise.org/society/committee.html

担当：西野和典，西端律子，中村勝則，鷹岡亮（研究会委員会）

■テーマ　：新たなネット時代のソーシャルメディアリテラシーと情報倫理/一般

■開催日　：2015年3月21日(土)

■開催場所：香川大学幸町キャンパス（〒760-8521　香川県高松市幸町1番1号）

http://www.kagawa-u.ac.jp/access/saiwai/

■発表申込締切：2015年1月20日（火）

■原稿提出締切：2015年2月13日（金）

■趣旨

タブレット端末や高機能化した携帯電話の急速な普及によって，電子掲示板，ブログ，Twitter，Mixi，Facebook，LINE等のSNSなどインターネットサービスへのアクセスが容易になり，ネットワーク上での誹謗中傷・いじめ，ネット犯罪や違法・有害情報等の問題が深刻化しています．このような状況において，情報モラルや情報セキュリティに関する教育の重要性がますます高まっています．そこで，第6回研究会では，新たなネット時代に対応する情報モラル，情報セキュリティに関するカリキュラム・プログラムと指導方法の開発，さらに，ネットやサービスの仕組み，ICTの安全な活用方法，基本的考え方や態度等を習得するための教材・ツールの開発，及び学校・家庭・地域における連携実践も含めた教育実践に関連した研究発表を募集します．また，教育の情報化に関連した研究発表や一般研究発表も広く募集します．

■発表申込方法：

発表申込先に電子メールで下記の項目をお送りください．

（注）メールの題名に「2014年度JSiSE第6回研究会申込」と必ずお書きください．

※発表申込締切：2015年1月20日（火）

（１）発表タイトル

（２）発表者（登壇者に○）

（３）所属

（４）概要（200字程度）

（５）キーワード（3～5語程度）

（６）連絡先住所，氏名，電話番号，電子メールアドレス

（７）懇親会参加希望の有無

（懇親会の情報は本募集の末尾に記載しています）

（８）その他，発表に関する要望

■発表原稿提出方法：

原稿提出先に，フォント埋め込みされたPDF形式で，電子メールにて原稿を送信下さい．なお，原稿をPDFに変換する際に，図の解像度を明示的に指定し(300dpi以上)，鮮明に印刷可能であることを確認してください．

※発表原稿と著作物利用許諾書の提出締切：2015年2月13日（金）

（１）原稿サイズと枚数

原稿は，A4判で，2枚以上8枚以下の偶数枚でお願いします．

（２）原稿の様式

学会Webサイトの研究会報告執筆要領ページ（http://www.jsise.org/society/format.html）に掲載しております「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください．その際,「英文アブストラクト」にかえて「和文アブストラクト」を記載してください．

（３）原稿送付方法と送付先

以下のあて先に，フォント埋め込みされたPDF形式で，電子メールにて原稿を送信下さい．なお，原稿をPDFに変換する際に，図の解像度を明示的に指定し(300dpi以上)，鮮明に印刷可能であることを確認してください．また，学会Webサイトの研究会報告執筆要領ページ（http://www.jsise.org/society/format.html）に掲載しております「著作物利用許諾書」をダウンロードし，必要事項をご記入の上，発表原稿と併せて電子メールにて送信下さい．

■懇親会

研究会終了後，特集論文研究会と合同で懇親会を予定しています(会費は3,000～4,000円を予定)．発表申し込みをされる方で参加希望の方は，申込時にその旨をご連絡ください．また，聴講希望の方で参加希望の方は下記連絡先までご連絡ください．参加人数を把握するために，事前のお申し込みをよろしくお願いいたします．

■お問い合わせ，発表申込，原稿提出先（懇親会事前申込含む）：

山口大学　鷹岡亮（第６回研究会担当委員）

E-mail:　ryo@yamaguchi-u.ac.jp

教育システム情報学会（JSiSE）
2014 年度 特集論文研究会　講演募集

担当：　小西達裕（研究会委員会／学会誌編集委員会）　　東本崇仁（編集委員会・特集幹事）
　　笠井俊信（編集委員会・特集幹事）　　松浦健二（編集委員会・特集幹事）
　　益川弘如（編集委員会・特集幹事）　　森本康彦（編集委員会・特集幹事）

■テーマ　：多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境

■開催日　：2015年3月21日(土)

■開催場所：香川大学幸町キャンパス（〒760-8521　香川県高松市幸町1番1号）

http://www.kagawa-u.ac.jp/access/saiwai/

■発表申込締切：2015年1月20日（火）

■原稿提出締切：2015年2月13日（金）

■趣旨

近年の情報処理技術の進歩により，情報端末はますます小型で扱いが容易になり，タブレットやスマートフォンにとどまらず，ウェアラブル端末の普及も間近に迫っています．一方，これらの情報端末を含む情報機器から発信される利用者の膨大な行動履歴情報は，ビッグデータとして情報処理の新たな価値を産み出しつつあり，その可能性は未だ十分に開拓しつくされたとはいえないと考えられます．

当然，教育システム技術にも，これらの情報端末やビッグデータの技術動向は，影響を及ぼしており，新たな情報端末の教育応用や，従来よりも格段に詳細な学習行動履歴情報を活用したラーニングアナリティクスと呼ばれる学習データ分析技術の研究開発が盛んになってきています．

以上のような状況を踏まえ，本特集論文研究会では、「多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境」に関する新たな教育支援技術，ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発をテーマとする発表を募集します．

本研究会は2016年4月発刊予定の本学会誌論文特集と連動した企画となっており，希望者には本特集への投稿論文執筆に役に立つコメントを提供させていただきます．発表者は，コメント希望の有無で2種類の発表形式を選択できます．コメントを希望されます場合には，研究会委員ならびに編集委員会委員が分担して、ご提出いただいた研究会原稿を拝読し，研究会での発表時にコメントを提供させていただきます．このコメントを参考にしていただき，論文特集にご投稿いただきたいと考えております．多くの発表申し込みをお待ちしております．

[学会誌特集号の論文募集はこちら]
http://www.jsise.org/journal/cfp2015_offer.html

■主な対象分野

本特集論文研究会では「多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境」に関する研究論文を幅広く募集します．キーワードは，次の通りですが，これに限定されるわけではありません．また，「多様な端末」，「大規模学習データ」のいずれかに関わる学習支援環境の研究であれば，本研究会の対象となります．

モバイルラーニング，ユビキタスラーニング，スマートフォン，タブレット，ウェアラブル端末，電子教科書，センサーネットワーク，IoT（Internet of Things），学習クラウド，ソーシャルメディア，学習コミュニティ，学習ポートフォリオ，ビッグデータ，オープンデータ，ラーニングアナリティクス，など

■発表申込方法：

発表申込先に電子メールで下記の項目をお送りください.

(注) メールの題名に「2014年度JSiSE特集論文研究会申込」と必ずお書きください.

※発表申込締切：2015年1月20日（火）

（１）発表タイトル

（２）発表者（登壇者に○）

（３）所属

（４）概要（200字程度）

（５）キーワード（3～5語程度）

（６）コメント希望の有無

・有りの場合の発表時間は40分（発表20分，質疑20分）を予定

・無しの場合の発表時間は25分（発表20分，質疑5分）を予定

（７）連絡先住所，氏名，電話番号，電子メールアドレス

（８）懇親会参加希望の有無

（懇親会の情報は本募集の末尾に記載しています）

（９）その他，発表に関する要望

■発表原稿提出方法：

原稿提出先に，電子メールにて原稿を送信下さい．なお，PDF原稿については下記３．の指定を守っていることを必ず確認してください.

※発表原稿と著作物利用許諾書の提出締切：2015年2月13日（金）

（１）原稿サイズと枚数

A4用紙で，コメント希望の有無によって以下の枚数制限があります.

・コメント希望【有】：６枚以上８枚以下の偶数枚でお願いします.

・コメント希望【無】：２枚以上８枚以下の偶数枚でお願いします.

（２）原稿の様式

学会Webサイトの研究会報告執筆要領ページ（http://www.jsise.org/society/format.html）に掲載しております「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください．その際,「英文アブストラクト」にかえて「和文アブストラクト」を記載してください.

（３）原稿送付方法と送付先

以下のあて先に,フォント埋め込みされたPDF形式で,電子メールにて原稿を送信下さい.なお,原稿をPDFに変換する際に，図の解像度を明示的に指定し(300dpi以上)，鮮明に印刷可能であることを確認してください．また，学会Webサイトの研究会報告執筆要領ページ（http://www.jsise.org/society/format.html）に掲載しております「著作物利用許諾書」をダウンロードし，必要事項をご記入の上，発表原稿と併せて電子メールにて送信下さい.

■懇親会

研究会終了後，第6回研究会と合同で懇親会を予定しています(会費は3,000～4,000円を予定)．発表申し込みをされる方で参加希望の方は，申込時にその旨をご連絡ください．また，聴講希望の方で参加希望の方は下記連絡先までご連絡ください．参加人数を把握するために，事前のお申し込みをよろしくお願いいたします.

■お問い合わせ，発表申込，原稿提出先（懇親会事前申込含む）：

岡山大学　笠井俊信（編集委員会・特集幹事）

E-mail:　kasai@okayama-u.ac.jp

教育システム情報学会（JSiSE）
「2014 年度 JSiSE 学生研究発表会」発表者募集のお知らせ（第一報）

教育システム情報学会　人材育成委員会

関係者各位
平素は、教育システム情報学会の活動にご協力頂き、ありがとうございます。
さて、教育システム情報学会　人材育成委員会では、恒例の「学生研究発表会」を下記の通り企画しました。　発表してみたいけれども学会はちょっと…という学生諸君、自分の研究に関して、広くアドバイスを求めたい、力試しをしてみたい、という院生諸君、指導教員として、年度のまとめとして発表させたい、とお考えの先生方、ふるって発表申し込みのほど、お願い申し上げます。

記

１）開催地区・開催都市　開催時期 2015 年３月

開催地区については現在調整中です。2013 年度は北海道（千歳市）、北信越（能美市）、東海（名古屋市）、関西（大阪市）、中国（広島市）、四国（高松市）、九州（北九州市）、沖縄（那覇市）の８会場で実施されました。2014 年度の会場は確定次第、年明け１月上旬には、第二報として学会メールなどで案内しますので、しばらくお待ちください。状況については人材育成委員の林（hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp）までお問い合わせください。以下は１２月４日（木）現在の開催予定状況です。

開催地区 開催都市	開催場所・開催日 実行委員長・連絡先
北海道 千歳市	千歳科学技術大学（北海道支部）　3 月 10 日（火） 小松川　浩　hiroshi@photon.chitose.ac.jp
北信越 未定	開催場所未定（北信越支部）　開催日未定 仁愛大学　篭谷　隆弘　kagoya@jindai.ac.jp
関西 大阪市	関西学院大学大阪梅田キャンパス（関西支部）　3 月 7 日（土） 甲子園大学　梶木　克則　kajiki@koshien.ac.jp　※研究発表とポスター発表の両方を募集します。
中国 東広島市	広島大学（中国支部）　開催日未定 広島大学　林　雄介　hayashi@lel.hiroshima-u.ac.jp
四国 高松市	香川大学幸町キャンパス（予定）　開催日未定 香川大学　林　敏浩　hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp
沖縄 那覇市	琉球大学総合情報処理センター2F 第 3 実習室　3 月 4 日（水） 琉球大学　谷口 祐治　taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp

２）発表方法：

＊研究発表（口頭発表）　＊ポスター発表（会場によっては募集しておりません。）

３）発表者資格：

大学生（短大生、高専４・５年生・専攻科を含む）、大学院生（マスターコース、ドクターコース在籍者）社会人学生も参加可能です。

＊JSiSE 正会員の推薦が必要です。

＊留学生の方の発表（英語・日本語）の発表も歓迎します。

＊発表場所（地区）は、自分の所属する大学の場所と一致していなくても結構です。

＊発表申し込み方法：別添の「JSiSE 学生研究発表会発表申込方法」参照のこと

JSiSE 学生研究発表会　発表申込方法

◆発表申込について

電子メールにて、以下の６項目を記入した発表申込書（末尾記載）と発表要約を添付書類にして、2015 年１月 30 日（金）までに希望する会場の連絡先メールアドレス（注）に送ってください。所属大学の所在地にかかわらず、どの開催場所で発表しても構いませんが、JSiSE 正会員の推薦者とあらかじめ相談しておいてください。

項目：①氏名（ふりがな）　②学校名　③学部・学年
④JSiSE 正会員である推薦者の所属および氏名　⑤発表希望場所
⑥口頭発表希望 or ポスター発表希望（地区によっては無いところがあります。）

発表要約：２００字程度（発表題目もつけておくこと）

◆発表の採否について

発表の採用・不採用については、実行委員会で発表要約を審査後、2014 年２月６日（金）までに結果を通知します。発表希望者が多数の場合は、指導教員１名につき発表者を１名に限定させていただく場合があります。ご了承ください。

◆発表原稿と発表について

発表が採用された場合は､2 月 16 日(月)迄に発表原稿を希望する会場の連絡先メールアドレス(注)に e-mail に添付して送ってください。発表原稿は、

① フォント埋め込み済みの PDF に限ります。
② 原稿枚数はＡ４サイズで２頁以内です。
③ 原稿にページ数を入れないで下さい。
④ 原稿の発表タイトルは、最初に申請したタイトルから変更しないで下さい。

発表原稿フォーマットは、JSiSE 全国大会発表フォーマットに従うものとし、実行委員長より提供します。発表時間は、研究発表１件につき２０分（発表１５分、質疑応答５分）の予定です。優秀な発表は、学会長名にて表彰します。詳しくは、発表希望地区の実行委員長にご確認下さい。

（注）会場の連絡先メールアドレスは、会場が確定後、年明け１月上旬には案内の第二報としてお知らせいたしますのでご注意ください。

2014 年度　JSiSE 学生研究発表会　発表申込書

氏名（ふりがな）	
学校名	
学部・学年	
JSiSE 正会員である 推薦者の所属および氏名	
発表希望場所	
口頭発表希望 or ポスター発表希望	
注意： 発表申込みをされた方は、下記の事項を了解されたとみなします。 発表原稿の題名、発表者名（共著者を含む）、発表者の所属、発表原稿の内容は、学会本部の Web サイトに１年程度掲載（閲覧には簡単なパスワードが必要）します。	

発表題目ならびに２００字程度の発表要約を添付すること。

****

教育システム情報学会 2014 年度第 4 回研究会報告

****

■テーマ　：
　タブレットメディア・スマートフォンなどの新しい ICT を用いた先進的な学習・教育支援／一般
■開催日　：2014 年 11 月 8 日（土）
■開催場所：電気通信大学　東 3 号館 301 室　（〒182-8585　東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1）
■担　　当：柏原昭博，長谷川忍，小尻智子，曽我真人
■発表件数：10 件，参加者数：31 名
■概　　要：
　第 4 回研究会は，「タブレットメディア・スマートフォンなどの新しい ICT を用いた先進的な学習・教育支援／一般」のテーマのもと，11 月 8 日に電気通信大学で開催いたしました．11 月は関連学会の研究会が多く開催予定であったため，発表申込みが心配されましたが，合計 10 件の発表が行われました．そのうち，5 件がタブレットメディア・スマートフォンなどの新しい ICT を用いた学習・教育支援に関連する発表で，内容的にも新しい ICT の活用方法や教育実践に関する興味深いもので，非常に活発な質疑応答・議論が行われました．いずれも，今後の進展が期待される研究発表でした．

―　2014 年度　研究会開催予定　―

	テーマ	日　時	会　場	申込締切	原稿締切
第５回	新技術の開発と活用による次世代教育･学習環境のデザイン/一般	2015 年 1 月 10 日（土）	大阪産業大学	11 月 14 日	12 月 5 日
第６回	新たなネット時代のソーシャルメディアリテラシーと情報倫理/一般 ※第 6 回研究会と並列開催で，和文誌特集論文研究会を予定	2015 年 3 月 21 日(土)	関東地区で開催予定	未定	未定

「第 9 回医療系 e ラーニング全国交流会」のご案内
http://www.jichi.ac.jp/jmel9th/

主催：医療系 e ラーニング全国交流会
共催：教育システム情報学会（JSiSE）

■テーマ　：e ラーニングのオープン化・共有化
■日　程　：2015 年 1 月 24 日（土）　～ 2015 年 1 月 25 日（日）
■開催場所：自治医科大学（栃木県 下野市 薬師寺 3311－1）
■事前参加申込み：2014 年 12 月 21 日（日）
https://www1.medc.gifu-u.ac.jp/reg_seminar/seminar2014_9th_e-learning_01.php

教育システム情報学会誌

特　集　号　論　文　募　集

―多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境―

近年の情報処理技術の進歩により，情報端末はますます小型で扱いが容易になり，タブレットやスマートフォンにとどまらず，ウェアラブル端末の普及も間近に迫っています．一方，これらの情報端末を含む情報機器から発信される利用者の膨大な行動履歴情報は，ビッグデータとして情報処理の新たな価値を産み出しつつあり，その可能性は未だ十分に開拓しつくされたとはいえないと考えられます．

当然，教育システム技術にも，これらの情報端末やビッグデータの技術動向は，影響を及ぼしており，新たな情報端末の教育応用や，従来よりも格段に詳細な学習行動履歴情報を活用したラーニングアナリティクスと呼ばれる学習データ分析技術の研究開発が盛んになってきています．

以上のような状況を踏まえ，今回，「多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境」に関する特集号を企画いたしました．当該分野における新たな教育支援技術，ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発の論文を幅広く募りますので，奮ってご投稿ください．

1. 対象分野

「多様な端末と大規模学習データが拓く新たな学習支援環境」に関する研究論文を幅広く募集します．キーワードは，次の通りですが，これに限定されるわけではありません．また，「多様な端末」，「大規模学習データ」のいずれかに関わる学習支援環境の研究であれば，本特集号の対象となります．

モバイルラーニング，ユビキタスラーニング，スマートフォン，タブレット，ウェアラブル端末，電子教科書，センサーネットワーク，IoT（Internet of Things），学習クラウド，ソーシャルメディア，学習コミュニティ，学習ポートフォリオ，ビッグデータ，オープンデータ，ラーニングアナリティクス，など

2. 論文種別

通常と同様，すべての種別（原著論文，実践論文，ショートノート，実践速報）の論文を募集します．なお，査読結果により，異なる種別での採録となる場合もあります．また，編集委員会の判断で，一般投稿論文として扱うことになる場合もあります．あらかじめご了承ください．

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます．詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください． Web 投稿の際には以下の点にご注意ください．

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください．
- 特集研究会（2015 年 3 月 21 日（土）開催予定）で発表を行った方は，投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に，特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください．

4. スケジュール

- 特集研究会：2015 年 3 月 21 日（土）
  会場：香川大学林町キャンパス（工学部）
  発表申込締切：2015 年 1 月中旬／原稿提出締切：2015 年 2 月初旬
- 投稿論文原稿〆切：2015 年 6 月 8 日（月）
- 掲載予定巻号：2016 年 4 月 1 日発行予定の学会誌（Vol.33, No.2）

5. 特集号編集委員会

委員長　：仲林　清（千葉工業大学）
副委員長：小西達裕（静岡大学），瀬田和久（大阪府立大学）
幹　　事：益川弘如（静岡大学），松浦健二（徳島大学），森本康彦（東京学芸大学），
　　東本崇仁（東京理科大学），笠井俊信（岡山大学）
委　　員：学会誌編集委員

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：
  特集号編集委員会副委員長 小西達裕（静岡大学）
  E-mail: konishi@inf.shizuoka.ac.jp

- Web 投稿に関する問い合わせ：
  教育システム情報学会編集事務局
  電話：03-5389-6492, E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
  〒169-0075
  東京都新宿区高田馬場 4-4-19　株式会社国際文献社 長澤

国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

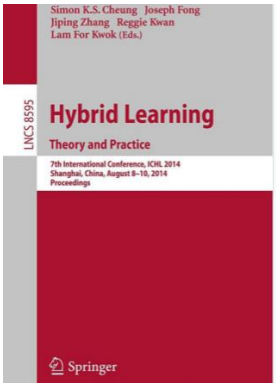
また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

国際学会参加の報告

島根大学　汪　曙東

2014 年 8 月 8 日 -10 日、中国上海の中国重点大学 「華東師範大学」で行われた国際学会「the 7th International Conference on Hybrid Learning 2014 - ICHL 2014」に参加しました。Hybrid Learning は Blended Learning という名称でも用いられるが、e ラーニングあるいはオンラインラーニングと対面授業を融合した学習形態を示します。

本学会は 2008 年以降、香港城市大学 (City University of Hong Kong)、香港公開大学 (The Open University of Hong Kong)、香港中文大学　(The Chinese University of Hong Kong)などの香港の大学が中心となり、教育工学分野における様々なテーマについて議論する目的で開催される会議です。大会で発表された研究論文集は、ドイツの出版社 Springer 出版し、世界的に有名なデジタル学術データベースに収録されています。



ICHL 2014 大会の論文集

今回の上海大会には香港、中国の大陸、台湾、日本、シンガポール、カナダ、アメリカ、ドイツからから約 150 名の参加者がいました。大会は Experiences in Hybrid Learning, Computer Supported Collaborative Learning, Pedagogical and Psychological Issues, Improved Flexibility of Learning Processes などのセッションに分かれ、幅広い分野の研究成果が発表されました。夏休み中とあって、熱心かつ好奇心旺盛な中国在学の大学生の姿はあまり見られなかったが、各セッションでは、発表者と参加者の間で熱い討論が繰り広げられました。

今回の Springer が出版した大会の論文集には、総論文投稿数の三分の一しか収録されていないものの、残り論文の多数は主催大学の出版社が ISBN を付与した論文集として同時に出版しました。

ICHL　2015 は 2015 年 7 月 27 日-29 日中国武漢市の華中師範大学で行われる予定です。多くの日本からの参加があることを期待しています。

北信越支部より報告

2014 年 10 月 4 日に信州大学工学部（長野県長野市）で開催された、電子情報通信学会 信越支部大会において、当支部では「教育システム情報学会北信越支部セッション」を開催致しました。本セッションは、北信越地域の教育システム情報学・教育工学に関わる研究者の研究成果発表および意見交換の場として、本年度新たに設置されました。

初めての開催となる今回は信越地域から 3 件の研究発表が集まり、興味深い研究成果の発表と活発な討論が行われました。

学会誌・研究報告バックナンバーのお求めは

学会誌・研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は，㈱毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社　毎日学術フォーラム
〒100-0003　東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階
TEL　：03-6267-4550　／　FAX　：03-6267-4555
Mail：maf－sales@mycom.co.jp　／　URL　：http://maf.mycom.co.jp

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。
■年間購読料　4,000 円／年 6 回発行＜送料込＞

事　務　局　よ　り

★☆年会費請求書発送について☆★

2014 年度の年会費の納付期限は、2014 年 9 月末日となっておりますので、ご入金が未だの会員様は至急ご納付くださいますようお願いいたします。

また、年会費未納の会員様につきましては、2013 年度以前の未納が続きますと、ご入金が確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、定款の定めにより除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願い致します。　ご不明な点がございましたら、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

JSiSE 事務局 E-mail：secretariat@jsise.org

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、**変更届を事務局まで**ご提出ください。
ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

◎　年会費のご案内　◎

■正会員　：7,000 円	■入会金：1,000 円（正会員・初年度のみ）
■学生会員：4,000 円	■研究報告年間購読：4,000 円（購読希望者のみ）
■賛助会員：50,000 円	

◎ 口　座 ◎　　2014 年 5 月 1 日より

ゆうちょ銀行（口座名義人のみ変更）

※ゆうちょ間
- 口座番号　00180-6-709632
- 口座名義人　一般社団法人教育システム情報学会
- フリガナ　ｼﾔ)ｷｮｳｲｸｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳｶﾞｯｶｲ

※他銀行より
- 支店名　〇一九店（ゼロイチキユウ）
- 当座預金　0709632
- 口座名義人　一般社団法人教育システム情報学会
- フリガナ　ｼﾔ)ｷｮｳｲｸｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳｶﾞｯｶｲ

三菱東京 UFJ 銀行（新口座）
- 支店名　上新庄支店（カミシンジョウ）
- 普通預金　0142708
- 口座名義人　一般社団法人教育システム情報学会
- フリガナ　ｼﾔ)ｷｮｳｲｸｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳｶﾞｯｶｲ

みずほ銀行（新口座）
- 支店名　茨木支店（イバラキ）
- 普通預金　1399483
- 口座名義人　一般社団法人教育システム情報学会
- フリガナ　ｼﾔ)ｷｮｳｲｸｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳｶﾞｯｶｲ

★☆振替口座変更のお知らせ★☆

一般社団法人への移行に伴い、平成 26 年 5 月 1 日より本学会取引口座が、上記の通り変更になりましたので、お間違いございませんようお願いいたします。

事務局　年末年始のお知らせ

下記の通り、冬季休業をお知らせいたします。

期間：２０１４年１２月２９日（月）～２０１５年１月６日（火）

※年始は 1 月 7 日（水）より平常通り運営いたします。

新　入　会　員　募　集

一般社団法人教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的に開催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、 そのほか、定期刊行物の論文誌、研究報告書(年間購読お申し込みの方)などがお手元に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会Ｗｅｂページ（http://www.jsise.org/）に掲載しておりますので（ＰＤＦファイル）ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、 学会事務局にご郵送または、FAX か、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金無料・その場で、学会誌最新刊を進呈させて頂くという
キャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

■学会事務局宛■

〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光 3 丁目 3-25-101 号
一般社団法人教育システム情報学会　事務局宛
TEL/FAX 06-6324-7767　　Email：secretariat@jsise.org

新入会員の紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。　　2014/9～2014/11

名前	所属機関	会員種別	名前	所属機関	会員種別
中﨑崇志	金沢学院大学	正会員	野本尚美	仁愛女子短期大学	正会員
藤平昌寿	帝京大学	正会員	大塚健太郎	横須賀法律行政専門学校	正会員
藤岡僚太	静岡大学大学院	学生会員	宇宿公紀	東京都立八潮高等学校	正会員
山本頼弥	静岡大学大学院	学生会員	高井由佳	大阪産業大学	正会員
村井　礼	香川大学	正会員	谷津勝弘		正会員
生田目美紀	筑波技術大学	正会員	藤田紀勝	職業能力開発総合大学校	正会員
賈　棋	森島学園	正会員	中村栄治	愛知工業大学	正会員
齊藤千恵子	熊本大学	学生会員			

正会員	12 名
学生会員	3 名